



認知症疾患医療センターって？

「認知症疾患医療センター」とは、東京都が指定する病院において認知症患者とその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるように、認知症疾患における鑑別診断や治療、医療相談などを地域の関係機関と連携しながら行う専門医療機関です。2024年4月現在、東京都内に52ヶ所の認知症疾患医療センターが設置されており、当センターは2015年8月より指定を受けています。

どんな相談があるの？

- 物忘れがひどく、心配になって…。
- 探し物ばかりしている。物が盗まれたと言っている。怒りっぽくなって困っている。
- 受診を進めたいけど、どうしたらいいの？
- 他の医療機関などから、認知症が疑われる患者さんの診断をお願いしたい。

このようなご相談のほか、介護保険の申請について、成年後見制度利用や免許更新の際の診断書などのご相談もあります。

ご相談から受診までの流れ

*かかりつけ医のいない方は、直接センターにご連絡ください。



認知症かな？



かかりつけ医に診療情報提供書をご相談ください。



電話にてご予約ください。



③受診

受付後、付き添いの方に問診票の記載をお願いします。患者様は、質問の検査や頭部CTなどを行っていただきます。その後、医師の診察が行われます。



受診後の治療や、その方にあった介護サービスなどについて、かかりつけ医や地域包括支援センター、ケアマネジャーなどの関係機関の方々と連携しながら地域での生活を支援していきます。

*診察の結果は、かかりつけ医の先生にも情報提供させていただき、引き継ぎをさせていただきます。

受診した方が良いか悩んでいる、こういった時はどうしたら…誰に話せばいいのか、など診察予約以外のご相談も可能です！お気軽にご連絡ください。面談希望の方は面談のご予約を受け付けています。相談は無料です！



認知症疾患医療センターの 活動や取り組み紹介

*認知症疾患医療センターでは、診断や治療といった専門医療のほかにも、患者様やそのご家族の支援、関係機関の皆様との地域連携の推進に取り組んでいます。

写真は許可を得て掲載しています。

7月「夏のフレイル診断とリハビリ・栄養専門職との大相談会」



「いずみ家族会」
のひとコマです。

8月 家族会はお休みです。

9月「豊田千純子先生のコグニサイズ！」



7月「パーキンソン病Webセミナー」講演

当院院長 豊田千純子先生が講演をしました。

「パーキンソン病に似た症状とその鑑別
～クリニックでの経験～」

8月「もの忘れ相談会」参加

高齢者総合センター青戸で行われた
「もの忘れ相談会」に
当院院長 豊田千純子先生が参加しました。

当院院長
豊田千純子先生
の活動内容です。

医療法人社団 東京東双泉会
いずみホームケアクリニック 認知症疾患医療センター

受付時間:

月曜日～金曜日 8時30分～11時30分・13時30分～16時30分

*水曜日は午前中のみ

葛飾区青戸5-30-4

電話番号 03-6662-6332